



<ある日のはちどり会議にて>

就労継続支援 B 型事業所の職員です。
統合失調症の診断がある 20 代女性 A さんの件で相談をしたいです。

子どもの頃からの夢である「雑貨屋さんで働きたい」と希望されているのですが…… 実習先であった市役所からは A さんが望むなら、就労の可能性は高いとも言ってくださっています。支援者として、実習で慣れた職場に就職した方がいいのではないかと、という気持ちもあって……



教育機関

A さんの夢を尊重するのか、それとも手堅い場所に就労して貰うか……
厳しい問題ですね。

そうなのです、雑貨屋さんの希望は尊重したいのですが…… どうにも、現状安定している体調が崩れてしまわないか、という点も心配なのです。



企業

「体調を崩すかも」という点が不安だといいますが、A さんはまだ
チャレンジをしていませんよね？
支援者が決めつけて可能性を狭めるのは良くないのでは？



医療機関

確かに、ずっと夢見ていた職種にチャレンジできる可能性があれば、
まずはそれを叶える事が必要なのかもしれないですね。
もしも体調を崩されても、バックアップの体制をきちんと整えておけば良い
のではないかと思います。医療機関としても、協力できます。

……なるほど。確かに、その通りです。
安定して働ける職種ばかりに気を取られていましたが、
A さんがどう考え、どう思っているか……「A さんと一緒に考える」事を見失
っていました。また、バックアップ体制についてもアイデアを頂いた事で、視
野が広がりました。
大変参考になりました、ありがとうございました。

【はちどり事例集① 雑貨屋で働きたい！20代女性 A さんのケース】

<はちどり会議後、就労継続支援 B 型事業所にて>

事業所で取り組んだ支援内容	それによる変化・効果
B 型事業所が参加するバザーに積極的に参加してもらい、商品レイアウトや販売の練習を行った	●「どうしたらお客様に買ってもらえるだろうか」などを自分で考えるようになった
B 型事業所の作業の中で、委託先との電話対応を練習した	●苦手な電話対応に慣れていった ●慣れていく中で、少しずつ自信を持てるように
就職を希望していた雑貨屋のスタッフさんと、事前にお会いする機会を作った	●「雑貨屋で働くこと」のイメージがより明確に ●顔合わせをすることで、 安心感 へ繋がった
就職する前にしておいた方がいいことについてのアドバイス、練習（履歴書作成、面接対策）	●「しっかりと対策ができていいる」と意識を持てることで、不安感が解消した ●さらなる 自信 へ繋がった

<その後>

A さんは、B 型事業所の中での訓練はもちろん、オリジナル雑貨の製作なども行った。夢の実現のために努力を重ね、自信をつけた A さんは念願だった雑貨屋の求人に応募し、無事就職が決まった。



A さんの声

支援を受け自信がつかましたし、「自分を必要としてくれる人がいるんだ」「私が積み上げてきたものが認められたんだ」と知ることもできました。そのおかげで、雑貨屋さんへの道を一步踏み出せました。今は達成感ややりがいを感じ、楽しく仕事をしています。病気になって一度は諦めた夢を叶えることができ、今とても充実しています。



企業の声

B 型事業所さんが、事前にお会いする場を設けてくださったこともあり、安心して迎えることができました。仕事に慣れるまで大変だった時期もありますが、元々興味のある業種ということもあってか、生き生きと仕事をしてくれています。B 型事業所さんとも相談を続けており、今では A さんに売り場の 1 つをお任せしています。A さんがうちに就職してくれて、とても良かったと思っています。



B 型事業所の声

支援の方向性を迷っていた時、はちどりで多面的で具体的な意見をたくさんいただきました。相談やその後の経過を聞いてもらったり、具体的なアドバイスを取り入れたりすることで、自信を持って支援ができました。医療機関のはちどりメンバーが「もし調子が悪くなくても、協力します」と心強い言葉をかけてくださり、安心できました。